

期末考査が終了し、2学期も残すところわずかとなりました。そして、色んな事があった2011年も終わりに近づいてきましたが、皆さんにとって、どんな1年だったでしょうか。とりわけ去年の今頃は、まだ中学生だった1年生の諸君には、多くの出来ごとがあったことだと思います。

その出来ごとの一つに、毎週行ってきた「タバコの正体」の学習も含まれるでしょう。そんな1年生に、先週のLHRで、タバコに関して抱いている感想を書いてもらいましたので、いくつかを紹介します。

まずは、シンプルで一番多かったパターンから

タバコ、くさいし高い。

タバコはくさいので嫌いだし、絶対にすいたくないと思った。

まわりにめいわく。

タバコは怖いと思った。

金の無駄。

体に悪い。

次は、キャッチフレーズ風の一言

興味なし、買う気なし、吸う気なし、以上！！

クサイ、かっこわるい、体にわるい。

ダメゼツタイ

ちょっと、ヤバイ感じのコメント

タバコは簡単に手に入る分、麻薬よりたちが悪い。

タバコは、麻薬と一緒に依存して早死にする。

そして、素直な一文

タバコは、吸っても何のメリットもないから絶対にすいたくない。タバコを吸っている人は、なんで吸いたいのかまったくわからない。

吸っている本人にも、吸っていない周りの人にも害が及ぶそんな物のどこがいいのか全くわかりません。家族でタバコを吸ってる人がいなくて良かったです。自分もこれからの人生でも吸わないようにしたいです。

この他にも、この紙面では紹介しきれない内容の濃いものや、詳細なものもたくさんありました。真剣に書いてくれたことに感謝します、ありがとう。

そして、この感想を読んだ私の感想を一言、「和工の未来は“明るい”」

産業デザイン科 奥田 恭久